

人口減少下における建築の専門性について

講師 小野田 泰明 先生

2026年3月13日(金) 17:30～19:30 (受付開始 17:00～)

会場：茨城県水戸生涯学習センター
(茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3F)

定員：104名 聴講無料 (どなたでも聴講できます)

※ 講演会后、講師を囲んで懇親会があります。(みまつホテル/会費¥5,000)

※ 懇親会の申込は3月3日(火)締切とさせていただきます。(定員20名)

※ 懇親会申込みの上での当日キャンセルは、会費を徴収致します。



小野田 泰明 Onoda Yasuaki
先生プロフィール

〈資格〉

一級建築士、博士(工学)

〈略歴〉

1963年 石川県金沢市生まれ
1986年 東北大学工学部建築学科卒業
1996年-2006年 東北大学大学院助教授
1998年-1999年 カリフォルニア大学建築都市デザイン学科客員研究員
2006年 東北大学大学院教授
2012年 東北大学災害科学国際研究所教授(兼任)
2023年 UCLA客員教授
2025年 日本建築学会会長

〈主な参画作品〉

2000年 せんだいメディアテーク(建築設計 伊東豊雄)
2002年 苓北町民ホール(共同設計 阿部仁史)
2007年 横須賀美術館(建築設計 山本理顕)

〈著書〉

「せんだいメディアテーク・コンセプトブック」NTT出版、共著
「オルタナティブ・モダン」TN Probe、共著
「ブレ・デザインの思想 - 建築計画実践の11箇条」TOTO建築叢書
「復興を実装する - 東日本大震災からの建築・地域再生」鹿島出版会、共著

〈受賞歴〉

2003年 日本建築学会賞作品賞 苓北町民ホール(共同:阿部仁史)
2009年 日本建築学会賞教育賞 デザイン教育の先駆的試み-国際建築ワークショップ-
(共同:阿部仁史、石田壽一、小野田泰明、本江正茂、堀口徹、中田千彦、槻橋修)
2016年 日本建築学会賞著作賞 ブレ・デザインの思想 - 建築計画実践の11箇条
2022年 日本建築学会賞論文賞 計画の実装と行為による空間創出に関する一連の研究

主催
日本建築学会 関東支部 茨城支所

共催
一般財団法人 茨城県建築センター
公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会

後援
一般社団法人 茨城県建築士会
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会



苓北町民ホール©阿野太一



せんだいメディアテーク©仙台市



釜石市鶴住居空撮©釜石市



能登復興調査上大沢



EXPO2025シンポジウム

建築文化講演会 参加申込書

E-mail: design@bunka-gakuen.ac.jp FAX: 029-224-6108

専門学校文化デザイナー学院内 日本建築学会関東支部茨城支所 建築文化講演会係宛

氏名	会社名・所属	TEL
	()	
	懇親会への参加	(参加 ・ 不参加)